

婦人関係資料ニリ
参考資料ヤニ五号

一九五三年の婦人の動き

長野 婦人少年室長殿

労働省婦人少年局 婦人課



一九五三年の婦人の動き

(一九五四年一月三十日)

一月

。学生省の依頼により東京都民生局が一九五三年九月に行った都内母子世帯の調査がまとまり、四万三千世帯の母子世帯があり、その殆どが苦しい生活をしていゝことがわかった。

衆議院議員戸川重子氏はエアーで行われたアジア社会党大会に出席した。中矢引揚促進のため、衆議院議員高良とみ氏を含む使節団が二十六日に北京向けに出発した。高良とみ氏は一九五二年に旅券法を犯してソ連へ行ったことから、今回は旅券を交付しないといわれ最後までもめつた。

二月

。東京女子学院でハートをつけた生徒を停学処分にした。
。小説家宮田信子氏が婦人公論三月号の「吉田首相を囲んで」という座談会で

「自分の息子を託んで國の盾に捧げる」とに誇を感じなければならぬといふ言葉が平和を願う女性の気持に及んでいるといつて問題になった。
主婦教育連盟へ会長、東京都教育委員柴田貞子氏が結成された。
朝日文化賞を受けた阪大の黒津教授の記念講演の席上、且今は二十年来事をかこりぬきいまいなかつたが専ら内助は入まがつたことに改めて気がついたといふ。學者の専ら内助の功が強調された。

三月

三日、虎春等が罰法案を官成タマヨ、伊藤修、岡部崇、金子洋文、青武雄氏等の議員提案によりオオ十国会の参議院に提出された。
七日、全國地域婦人団体連絡協議会、主婦連合会、婦人有収者同盟等が、ハイアライ法案反対全婦人団体協議会を結成し署名運動等の活動を行つた。
十日、ヤ五回世流文学賞が大谷藤子氏受賞と決つた。

十四日、国会解散のため、虎春等が罰法案、ハイアライ法案ともに衆議院でアメリカ、ニユーヨーク國連本部における國際連合婦人の地位委員会に労働婦人少年局長藤田たけふ氏が日本政府オプザバーとして出席。
婦人団体連合会へ会長、平塚らいてう、副会長、高良とみ子が結成された。
農林省主催で生活改善実績発表会が東京に於て行われ、全農家の生活改善グループの主婦代表ニヒロ名を含む約五〇名を以て婦人が出席した。
中央からの集団引揚げにより、中央における婦人の地位の実態がほゞ明らかになつた。
労働省婦人少年局の依頼により、「風紀に關する」を論調査、その左を論調査所が実施した。

四月

一日、母子福祉資金貸付法施行。
衆議院憲法部と参議院中教改部の送奉運動が行われ婦人団体のあるものは皆

年固算としても公明選挙運動を展開した。
終戦後に生れた混血児はじめて小学校に入學した。

。十日ー十六日 婦人團圓が自主性の確立を目標として行われ、芳村省及び朝日新聞社共催で全日本婦人會議、婦人團圓中央大会などが催された。
ヘスローガン「うはしましう、自分で志之行動する力」

。婦人團圓に當り婦人少年局及びユネスコ國內委員会の招聘によりユネスコ本部社会科学部長ミルダール女史が来日し、東京、京都、大阪、奈良、仙台的各地で婦人の自主性について講演を行い、又各界有識婦人と意見を交換した。

。一九五二年十二月に行方不明となり、東大付属病院で不計博士夫人香子氏の自殺死体が発見され、夫が仕事に没頭して家庭をわづらひかけたため、はなはかとりわれ学者の家庭のあり方について論議をかわした。

。東京理科大学の富平静代氏は女性として戦後はじめて無線二級技士となり、アマチニア無線局の免許をうけた。

。十九日、衆議院總選挙の結果、婦人議員が九名当選した。

大石ヨシエ(右社) 神直 市子(右社) 堤 ヲルヨ(右社) 戸叶里子(右社)

中山 マサ(自) 萩元たけ子(左社) 福田 昌子(左社) 山口シズエ(右社)

山下 春江(改)

。二十三日、参議院半数改選の結果、婦人議員が一口九名当選した。

赤松 常子(右社) 安部キミ子(左) 市川 芳枝(左) 奥 むめお(左)

高良 とみ(左) 西岡 ハル(自) 長谷部玄子(左) 宮城タマヨ(左)

最上 英子(改) 横山 フク(自)

参議院婦人議員は合計十五名と増えた。

。年度末、教員奨励にとり、婦人校長に退職をかん告したり、停年を男より延くしたりして差別する傾向が現れ、山梨県をはじめとして各地の婦人団体が日教組婦人部とともに反対運動を起した。

五月

。衆議院議員中山マサ(自)が厚生政務次官に就任した。

。アメリカのウィルヘルム・ヘンリッヒ・フォン・テューレン（W.H. von Tschullen）の「婦人の際平和自由連盟」代表、ウォルター・マレンバークの「大会に出席の途上末日した」。

。W.H. von Tschullen（モリス・健操）の「エリザベス・ヘルツが日本の看護事業現案に末日した」。

。エリノア・スーザン・ベルト夫人が「日米知的交流計画により末日した」各地で講演を行った。

。京都大学法学部に初の女性講師として当大学卒業の桂静子氏が決定した。

。日本婦人大会が婦人団体連合会等の主催で開催され、六月にコペンハーゲンで行われる世界婦人大会出席の代表について話し合った。

。石川県内灘村の墓地に対して、県婦人団体が運動した。

。三十一日、中三回全小の小学校婦人校長会議が横浜で開催された。

六月

。婦人経済連盟理事長、竹内利雄氏の事業破たんによる失踪が伝えられた。

。母子福祉資金貸付法制定記念大会が東京で、全日本婦人団体協議会等が主催により行われた。

。駐留軍施設周辺の風紀対策が日米合同委員会で開催され、次官名で通達された。
。デンマーク・コペンハーゲンにおける世界婦人大会に日本から十人が出席した。

。参議院議員、高田ひさ子、ミドリモリ子、羽仁説子

。長崎県議会議員、村上とく、婦人団体連合会、長田秀衛

。日教組、千葉十代世、織維統一委員会、宮城富士子

。北海道代表主婦、小笠原貞子、東北代表福島県児童福祉主事、直藤千枝

。画家、赤松俊子、自治労連、高橋しづ江

七月

。アメリカ婦人所有者同盟前会長アンソニー・ストラウス女史がアメリカ大使館の日米人物交流計画により末日した。

。オナ六国会参議院法務委員会に先着対策小委員会がござつた。委員は

郡 祐一 加藤武徳

小野義夫

市村常子

橋見義男

亀田得治

一松定吉

宮城タマヨ

。大養法務大臣は参議院予算委員会に、加藤シズエは藤原直子氏との質問に答へて「先着に關するものは、この黙認主義は限りにした」と述べた。

。又此に關する世論調査の結果が発表された。

。オーストリア、ウィーンで開かれた世界教育者会議に、前日教組婦

人部長高田はあつた。現日教組婦人部長千葉千代世氏等が出席した。

。パリ国立音楽院卒業生コンクールに山根弥生子氏が一等となつた。

。スウェーデン、ストックホルムで開かれた「ユニバーサル・コン

テス」にオミ位となつた。

。フランスのピリッソンとスペインのバムグロナで開かれた「民族音楽祭」

祭で花柳美園氏が一位になつた。

八月

。芳村省婦人少年局では一日から三十一日まで「働く婦人の健康を高める運動」を展開した。

。芳村省婦人少年局は八月、九月の二ヶ月にわたり「先着防止特別活動」を展開した。

。日教主協会が首切り反対のデモを行った。

。岡山市先着取締條例が制定、公布、施行された。

。日教主婦連合会結成大会が東京参議院会館で行われた。

。芳村省婦人少年局では「働く婦人の家」を神奈川県と福岡県に建てることに決めた。

。全日本高校家庭クラブ連盟が結成された。

。イギリス、エジンバラで行われた第八回国際家政学大会に、お茶の水女子大の

成田順、松平友子教授が出席した。

。スウェーデン、ストックホルムで開かれた家族計画会議に日本産児調節連盟の

表として日本看護協会福岡支部長眞島チモ氏が出席した。

。参議院議員紅露みつ氏は戦犯釈放謝意表明及び各町政治経済事情視察の議員団に加つて東南アジアを視察した。

。衆議院議員山下春江氏は引揚委員会委員長として、スイスジュネーブの国連捕虜特別委員会に出席した。

。衆議院議員大石ヨシエ氏はストックホルムで開かれた万国議員連盟会議に出席した。

九月

。津田塾大学教授近藤いね子氏は女性として初めての文学博士に就いた。

。北海道千歳町凡絶取締条例改正案が議決された。(十月一日施行)

。東京で行われたアジア卓球選手権試合に日本女子チームが団体で優勝した。

。キンゼイ報告女性編がアメリカで発表され、女性の性生活について日本でも議論をかもした。

。インドの婦人議員三名が吉田首相の招きにより来日し、関東、関西の各地を視察し、婦人少年局等の他、主権による会合であり、日本婦人有識者と意見

交換した。

。生活協同組合連合会、婦人団体連合会、母の会などが、衆議院第一議員会館に集り米価値上及封運動をすることにした。

。横山蒼子氏は女流随行者として戦後初めて事業航空士の試験に合格した。

。歌舞伎俳優市川右太衛門氏が既に三子ある内縁の妻千代さんと正式結婚して封建的なこの社会に一石を投じた。

。東京、日比谷公会堂で初めて女性指揮者(羽仁協子、久山恵子)による音楽会が催された。

。岐阜県老淫勧誘行為取締条例制定

。職業指導の専任家、工場の事々局婦人少年課員マーガレット・バーネック女

史が来日してアジア地域会議に出席するため来日、東京、名古屋にて婦人会、労働婦人部等より懇談や講演及び視察を行った。

十月

。東京都婦人教育大会が教育方等の主催で開催された。

。東京株式会社で劇場に勤務する 客席係 案内係 出孔係 売店係 エレベーターガールなどの女子従業員の俸年を二十五才と決定した。

。戦後芸者のなか、上宮崎県で新たに株式会社芸能あーせん所を設ける為、当局に許可申請がなされ 婦人団体その他が反対運動を行った。

。警視方人事課の高松春子氏は婦人として初めて警部補試験に合格した。

。婦人民主クラブ委員長柳田ウキ氏はオーストリア、ウィーンで開かれた世界平和会議に出席した。

。主婦連合会が米の値上げ反対運動を行った。

。民生委員の改選が行われ、婦人委員の進出が著るしい。

。二十九日キリスト教婦人矯風会々長ガントレント恒子氏が死亡した。

十二月

。二日、全日本女子学生大会が港区赤坂公会堂で開催された。

。二日、参議院本会議で深川タマエ氏、加藤シズエ氏の質問に答へ、大蔵法務大臣と小坂芳次大臣が荒倉対策協議会を作ることを述べた。

。埼玉県松崎製糸の争議の際、女子従業員の父兄が会社側から呼出されて娘達にストライキをやめさせるために、暴力に訴えて脱走させようとした。

。日本サウチーハが東南アジアバスケット選手権を獲得した。

。日本婦人大会が婦人団体連合会、總評等の主催で港区公会堂で開かれた。

。主婦連合会では内松庵止運動を行った。

。A級戦犯として処刑された広田弘毅元首相夫人の死は夫にあとの心配をいせない為の自刃であつたことが明らかになり、婦道う鑑とか、封建的とかいわれた。

。荒倉問題対策協議会設置について次官会議決定及び閣議了解をみた。

。アイナ、メイ、クマガイ女史が教育功労者として勲五等瑞宝賞をうけた。

。小学校教育員梅沢綾子氏は線路に落ちた教之子を身よりて助けた功により紅綬褒章を授けられた。

。和歌山刑務所で女子囚の為に美容学校を開設した。

。行政整理による劣働者婦人少年労働減少及対協試会が衆参婦人議員等の他有志婦人により結成された。

。米価審議会で二十九年産米価決定につき唯一人の女性審議員飯田文子氏が消費米価値上げに反対して奮闘した。

このほか年間を通じての主な動きとしては左のようである。

。二度の選挙で、昔からの婦人運動の先覚者市川秀枝氏、神近市子氏らが試席を得たため、国会内の婦人議員活動が特に活発になった。

。売春禁止法制促進委員会（セリスト教婦人矯風会、YWCA、地婦連、有収者同盟、友の会、婦人福祉施設連合会、各政党婦人部等二十四団体参加）の活動及び各地方における凡紀取締條例制定の為にそれぞれ地方婦人団体の働きがあった。

。駐留軍施設設置及対策に關して、内灘村、浅間山麓をはじめ、富士山麓、美保

地区等、地元婦人団体が活発な運動を行った。

。各地域婦人団体や未亡人団体が母子福祉資金貸付の地方予算を獲得すること

及びその貸付の公平利用に努力を要求した。

。いわゆる平和運動に婦人団体連合会、婦人民主クラブ等の婦人団体が参加し

ている。

。地域婦人団体と農協婦人部、炭婦協、町内会婦人部等において役員、委員

事業などが重複する場合に調整するに努めている。指みが問題とされている

ところが多い。

。農村婦人の間には食生活改善運動や貯蓄運動が行われ、貯蓄は目標額に近づ

き好成績であった。

。特に年末には全国的に経済団体が主導した新生活運動に主婦連合会等が協力して虚礼廃止を叫んだ。